

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 29日

山梨県知事

長崎 幸太郎 殿

提出者

住所 東京都中央区日本橋箱崎町36番2号
Daiwaリバーゲート

氏名 ジャパンパイル株式会社
代表取締役 黒瀬 晃

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-5843-4192

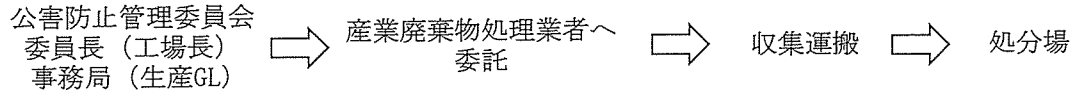
山梨県生活環境の保全に関する条例第62条第1項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ジャパンパイル株式会社 山梨工場
事業場の所在地	山梨県南巨摩郡身延町下山10624-4
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	製品出荷額 2.114百万
③ 従業員数	37名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・木くず：処理業者に委託し、破碎にて中間処理後リサイクル ・ガラ陶：処理業者に委託し、破碎にて中間処理後リサイクル ・廃プラ：処理業者に委託し、破碎にて中間処理 ・紙くず：処理業者に委託し、破碎にて中間処理 ・繊維くず：処理業者に委託し、破碎にて中間処理 ・廃油：処理業者に委託し、油水分離にて中間処理 ・汚泥：処理業者に委託し、油水分離にて中間処理

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和4 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・新規設備の導入により製造工程内で発生していたコンクリート練り不良による廃棄を削減。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・継続した製造設備の改善を実施し、減量化に努める。 ・納入業者への引き取りの推進を継続。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリートくず、廃油、汚泥、木くずは分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合物については、可能な限り分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	-	-
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	-	-
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-(1), (2)のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-(1), (2)のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

廃棄物の種類	①現状 令和4年度実績排出量	②計画 目標排出量
ガラ陶	670.00 t	570 t
混合物 (廃プラ)	6.58 t	6 t
混合物 (紙くず)		
混合物 (繊維くず)		
廃油	9.27 t	8 t
汚泥	8.58 t	8 t
木くず	8.64 t	8 t
合計	703.07 t	600 t

別紙2-(1)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	ガラ陶	混合物 (廃プラ)	混合物 (紙くず)	混合物 (繊維くず)
	全処理委託量	670 t	6.58 t		
	優良認定処理業者への 処理委託量				
	再生利用業者への 処理委託量	670 t			
	認定熱回収業者への 処理委託量				
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量				
(これまでに実施した取組) ・分別を行ない再生利用業者への委託を実施。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ガラ陶	混合物 (廃プラ)	混合物 (紙くず)	混合物 (繊維くず)
	全処理委託量	570 t	6 t		
	優良認定処理業者への 処理委託量				
	再生利用業者への 処理委託量	570 t	1 t		
	認定熱回収業者への 処理委託量				
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量				
(今後実施する予定の取組) ・混合物については、可能な限り分別を行ない再生利用業者への処理を委託する。					

別紙2-(2)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	木くず	
全処理委託量	9.27 t	8.58 t	8.64 t	
優良認定処理業者への処理委託量				
再生利用業者への処理委託量			8.64 t	
認定熱回収業者への処理委託量				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
(これまでに実施した取組)				
①現状				
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	木くず	
全処理委託量	8 t	8 t	8 t	
優良認定処理業者への処理委託量				
再生利用業者への処理委託量			8 t	
認定熱回収業者への処理委託量				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
(今後実施する予定の取組)				
②計画				